

道路事業

4. 道路事業

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として伊豆縦貫自動車道及び、国道1号・138号・246号の改築及び維持管理並びに、それらに関する調査を行います。

○事業中箇所

◆高規格（伊豆縦貫自動車道）

- 国道1号 東駿河湾環状道路
- 国道414号 河津下田道路（Ⅰ期）
- 国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）
- 国道414号 天城峠道路

◆一般道路

- 国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）
- 国道138号 御殿場バイパス（西区間）
- 国道246号 裾野バイパス

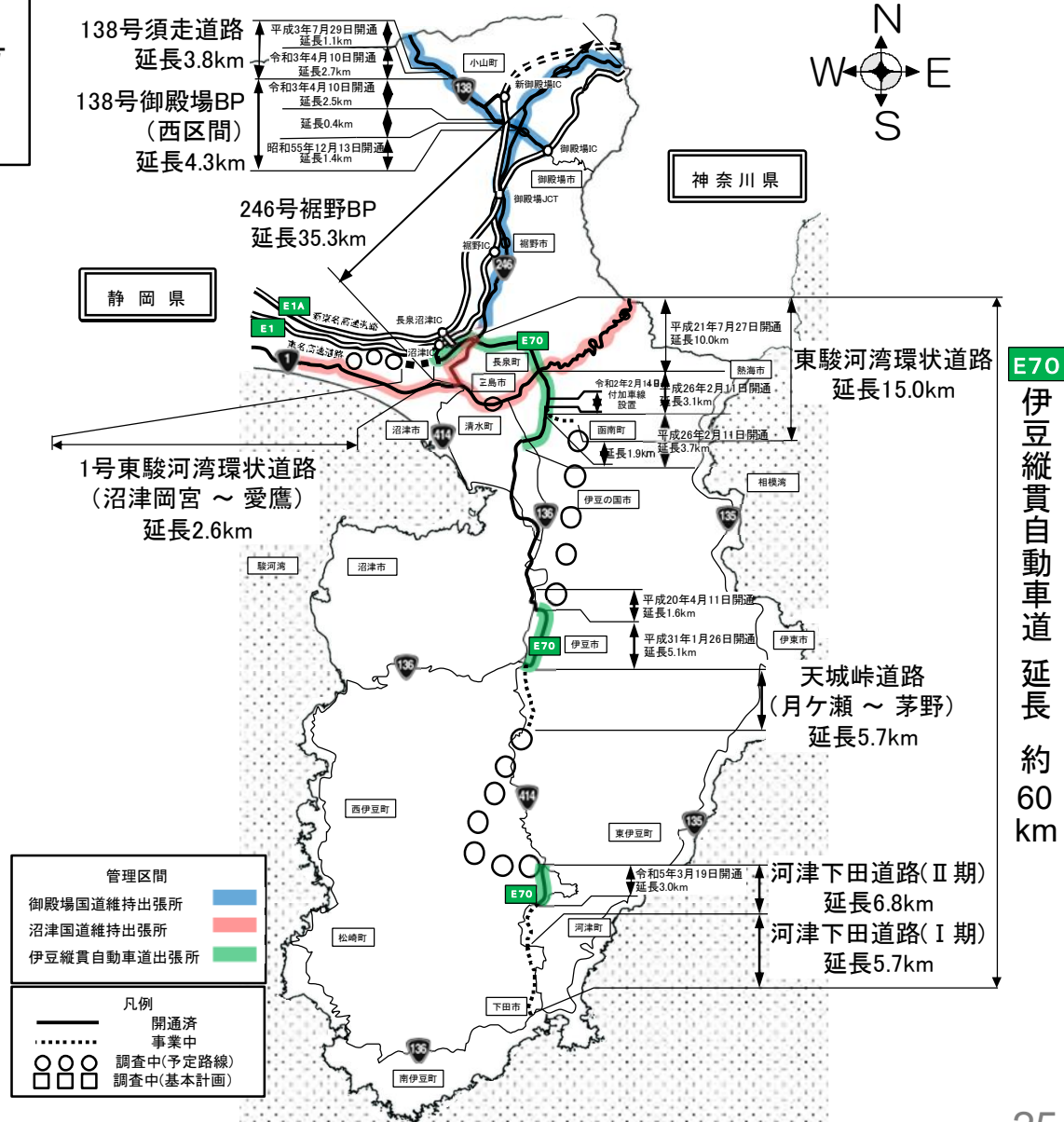
○調査中箇所

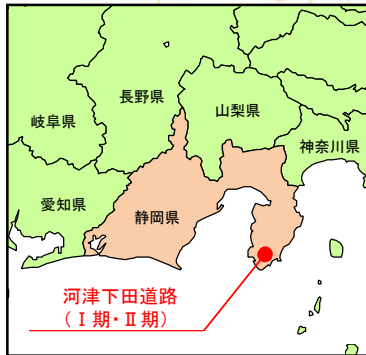
◆高規格（伊豆縦貫自動車道）

- 国道414号 茅野～河津七滝

◆一般道路

- 国道1号 東駿河湾環状道路（愛鷹～原）





至 熱海

河津下田道路(Ⅱ期) 延長6.8km

河津下田道路(Ⅰ期) 延長5.7km

令和8年度 事業内容

関係機関協議、道路詳細設計、環境調査、水文調査、
用地買収、移転補償、改良工、3号トンネル工

令和8年度 事業内容

関係機関協議、用地調査、道路予備設計、
橋梁予備設計、道路詳細設計、環境調査、
水文調査、用地買収、移転補償、
改良工、4号橋橋梁下部工

夏季大型車通行止
(7月20日～8月20日)

2023.3.19開通

延長3.0km(2/2)

至 沼津

かわづなだる
河津七滝IC

T' 15=5,787台/日
K=0.73

かわづさかさかわ
河津逆川IC

すはら
須原IC(仮称)

しもだきた
下田北IC(仮称)

れんだいじ
蓮台寺IC(仮称)

しきね
敷根IC(仮称)

しもだ
下田IC(仮称)

主要渋滞箇所
中島橋文差点

T' 15=11,111台/日
K=1.22

凡 例	
開通済	■
事業中	■ ■ ■ ■ ■
浸水想定区域※	■

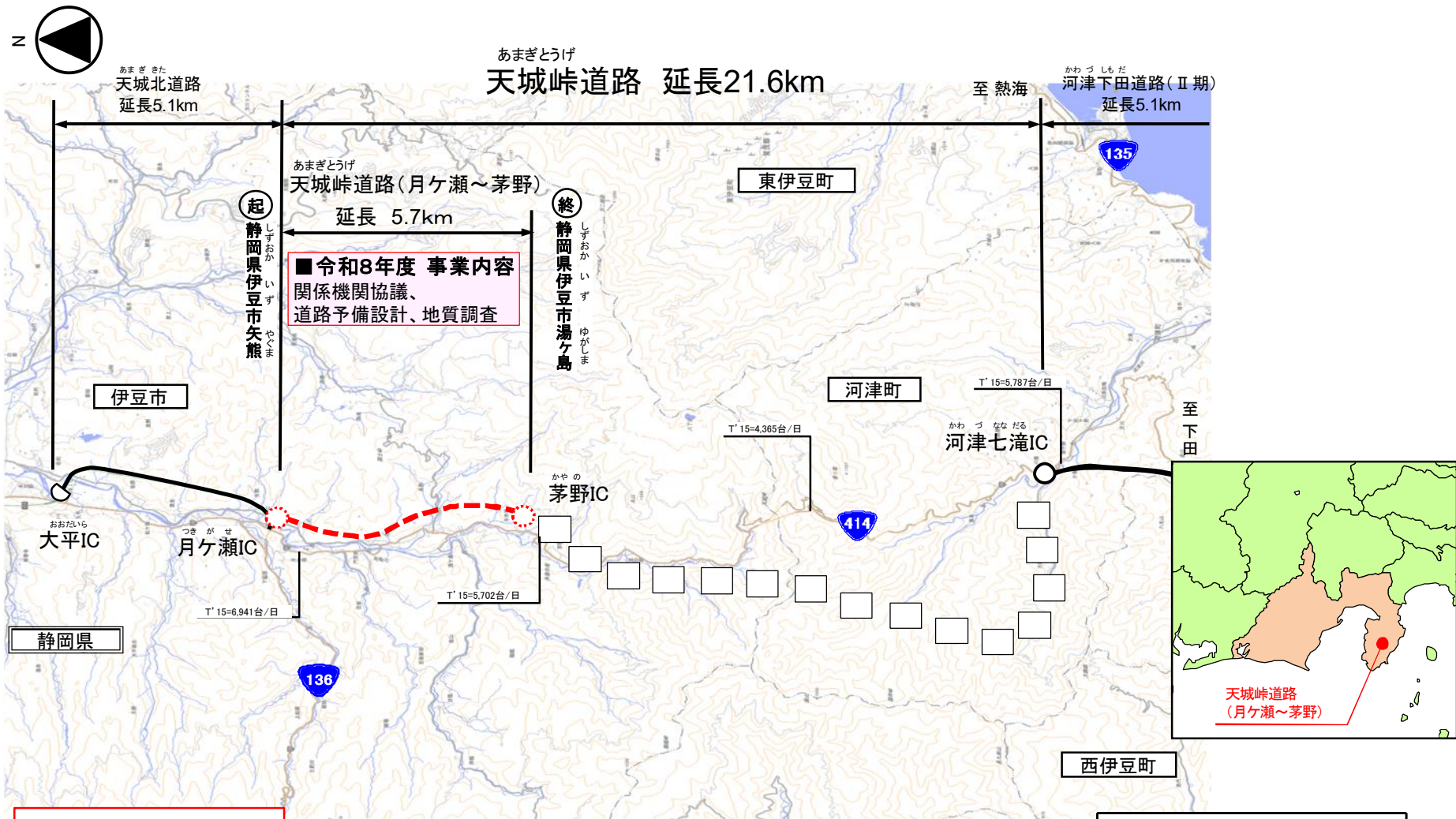
R8当初事業費
河下Ⅱ期:3,322百万円
河下Ⅰ期:1,720百万円

※出典:内閣府「南海トラフの巨大地震における津波高・浸水域等(第2次報告)」

至 沼津



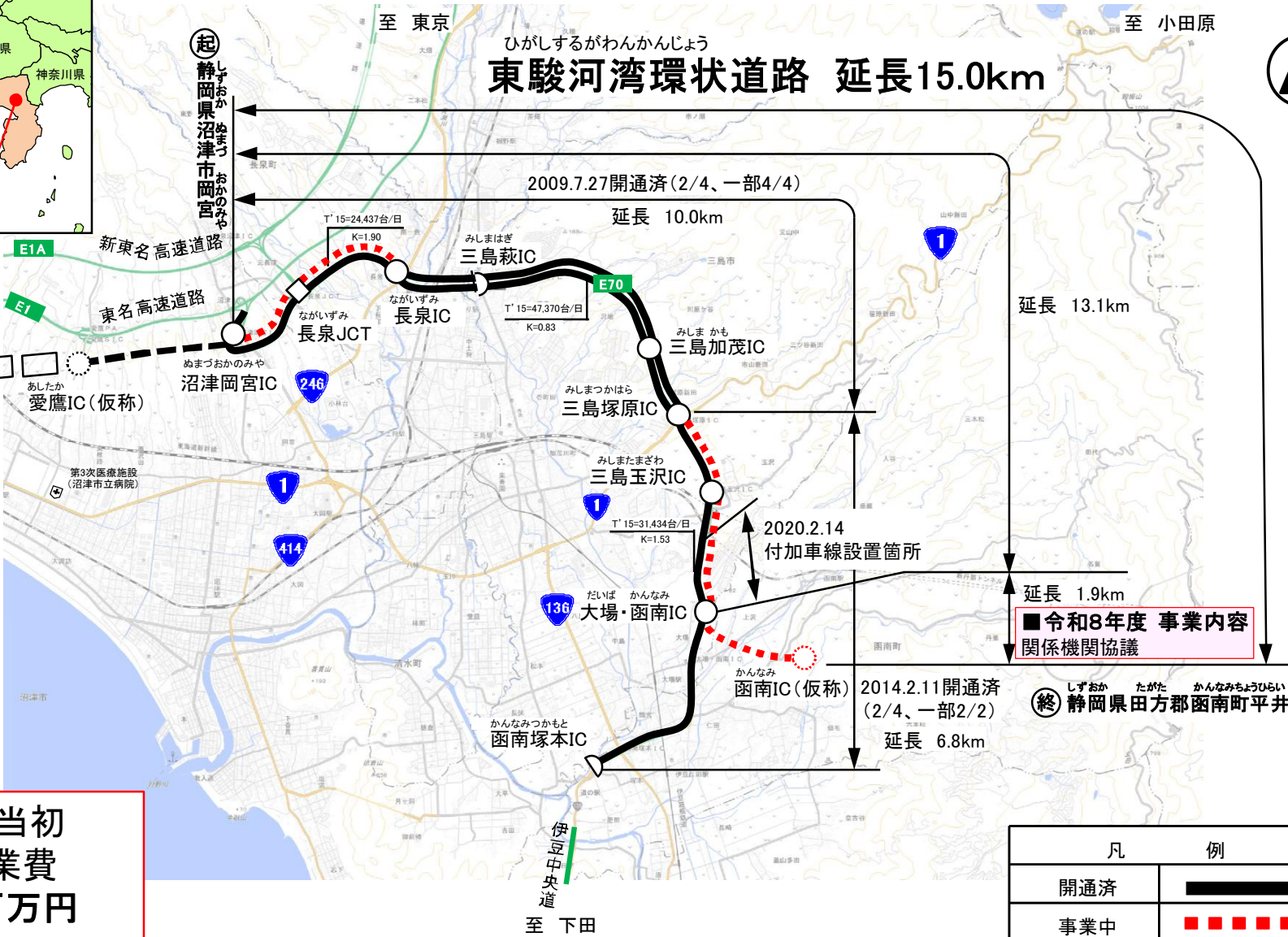
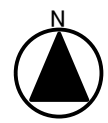
伊豆縦貫自動車道 天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)



R8当初
事業費
100百万円

凡 例	
開通済	—————
事業中	■■■■■
調査中	□□□□

国道1号 東駿河湾環状道路



東駿河湾環状道路 延長15.0km

2009.7.27開通済(2/4、一部4/4)

延長 10.0km

延長 13.1km

延長 1.9km

2014.2.11開通済(2/4、一部2/2)

延長 6.8km

■ 令和8年度 事業内容
関係機関協議

（終） 静岡県田方郡函南町平井

至名古屋

至東京

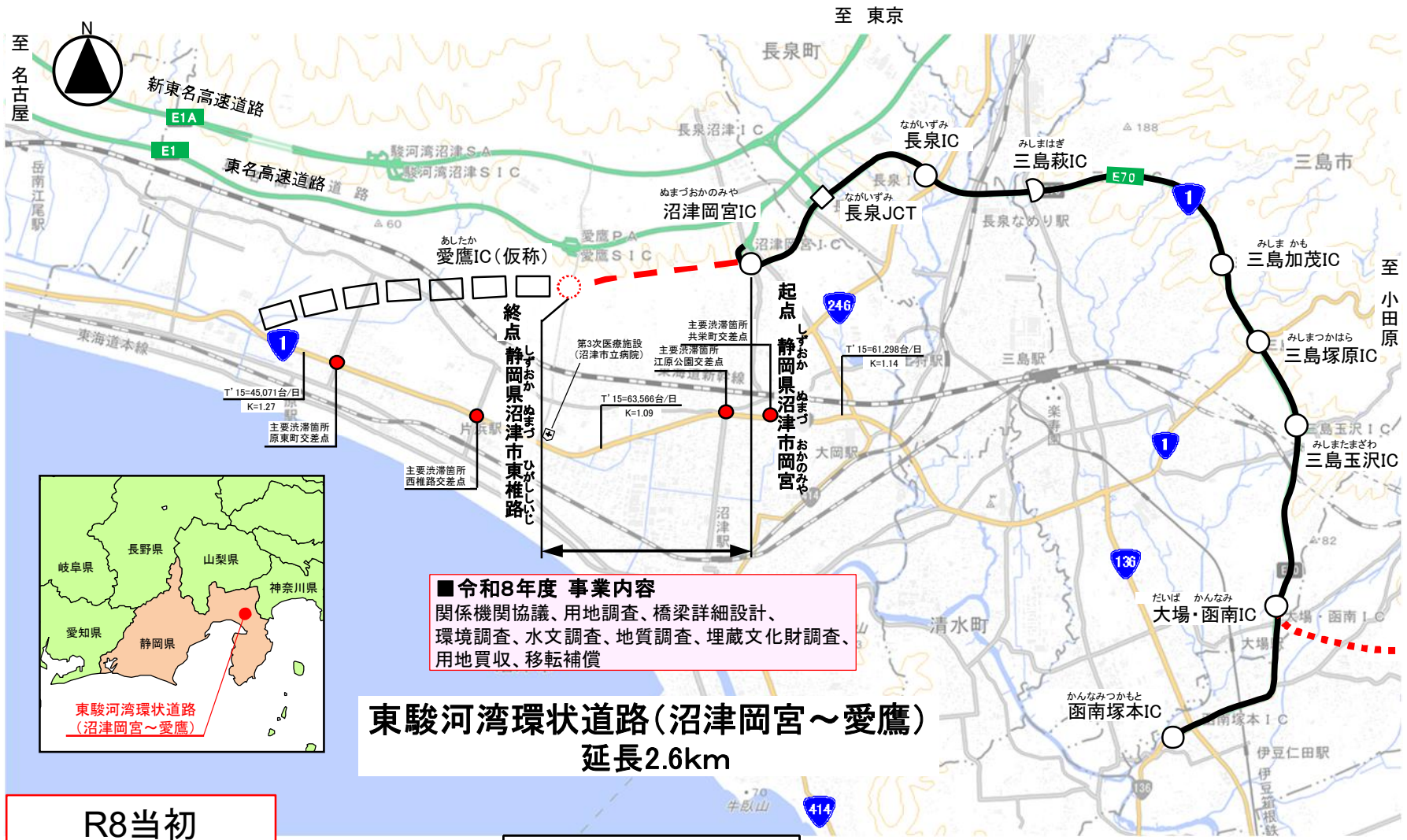
至小田原

伊豆中央道 至下田

R8当初
事業費
10百万円

凡	例
開通済	—————
事業中	■■■■■

国道1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)



令和8年度 事業内容
 関係機関協議、用地調査、橋梁詳細設計、
 環境調査、水文調査、地質調査、埋蔵文化財調査、
 用地買収、移転補償

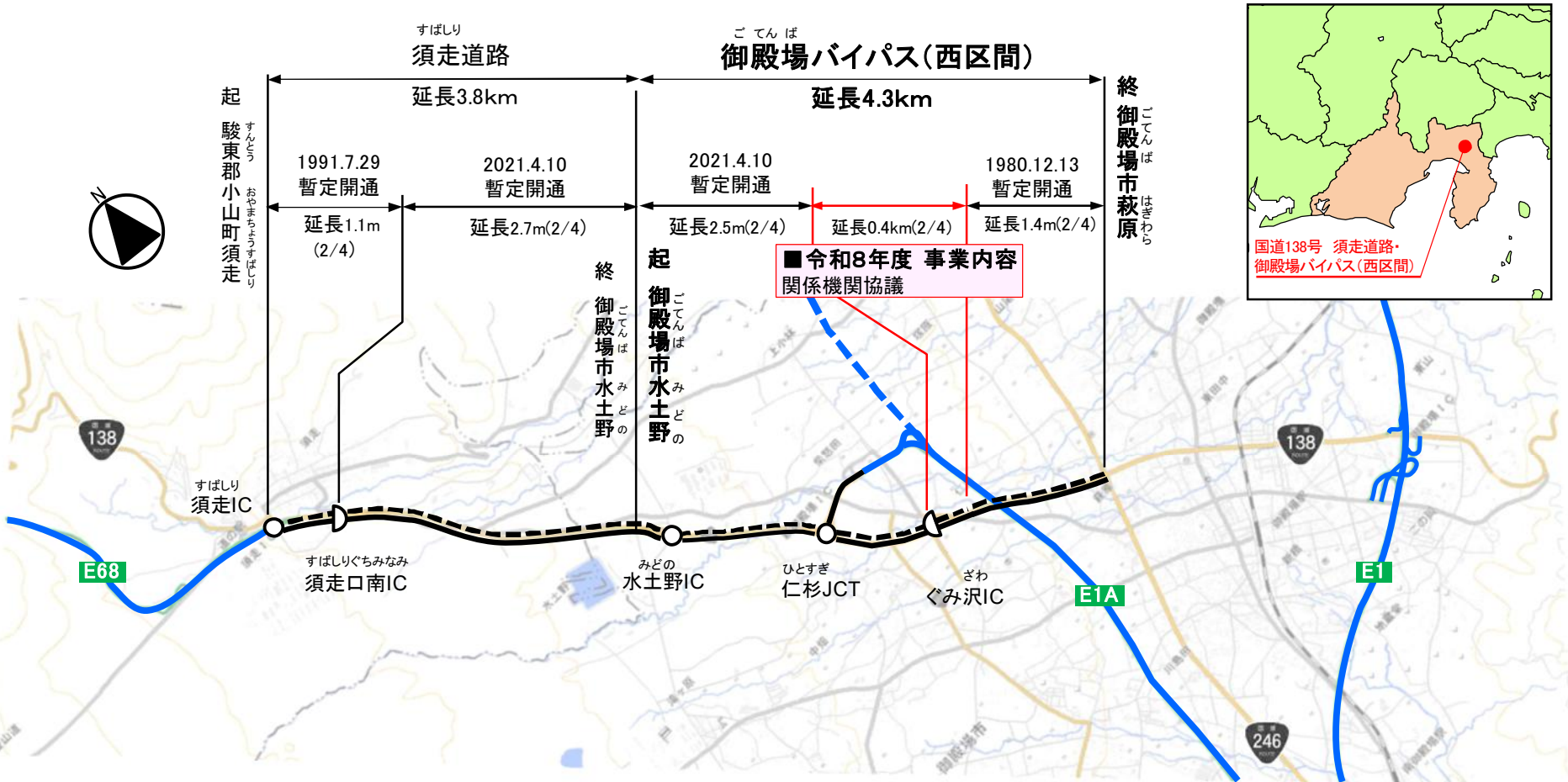
東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹) 延長2.6km

R8当初
 事業費
 650百万円

凡 例	
開通済	—————
事業中	■■■■■



国道138号 御殿場バイパス(西区間)



R8当初
事業費
10百万円

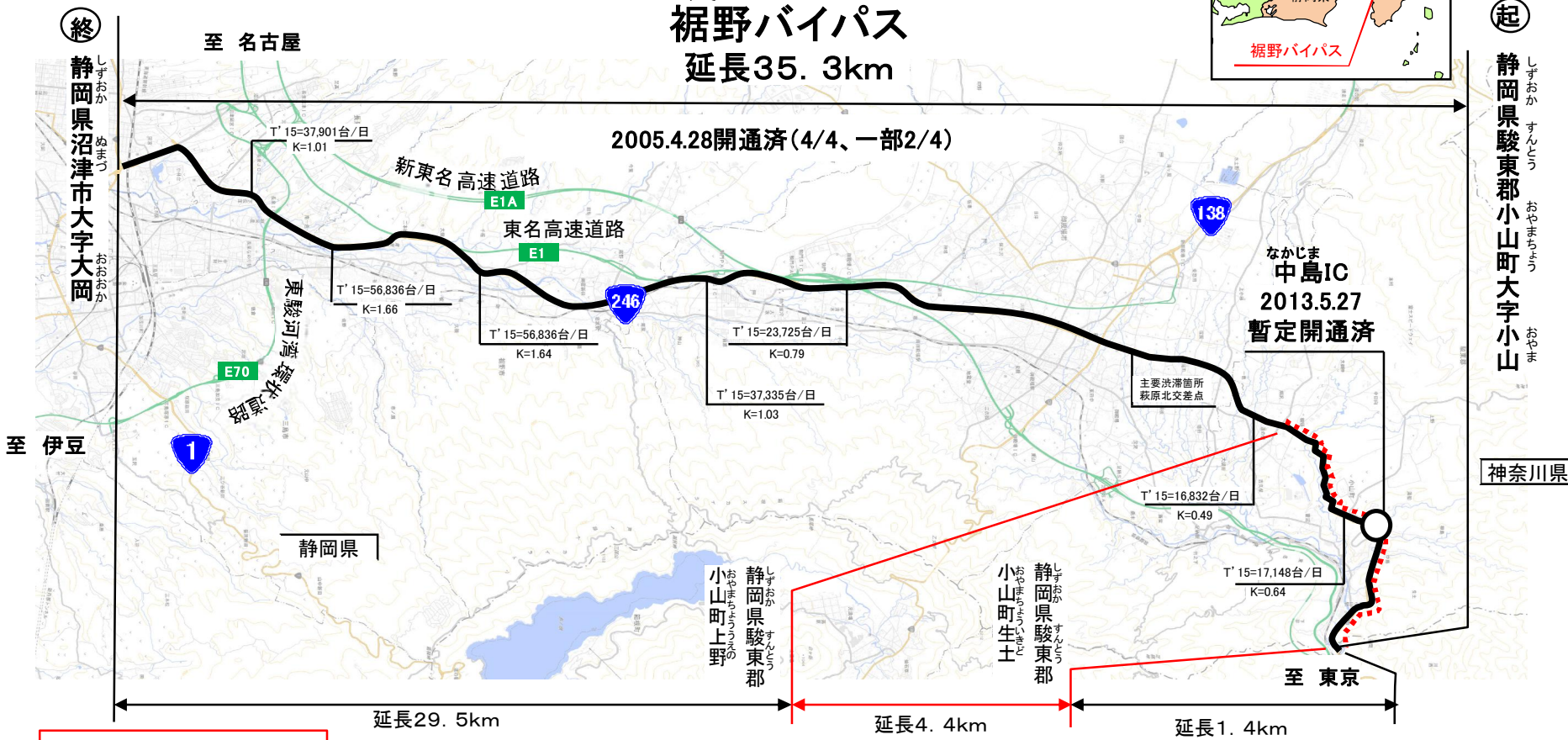
凡	例
開通済	—————
事業中	■■■■■
有料道路	—————

国道246号 裾野バイパス



すその 裾野バイパス 延長35.3km

2005.4.28開通済(4/4、一部2/4)



起 静岡県駿東郡小山町大字小山

神奈川県

終 静岡県沼津市大字大岡

至 伊豆

なかじま 中島IC
2013.5.27
暫定開通済

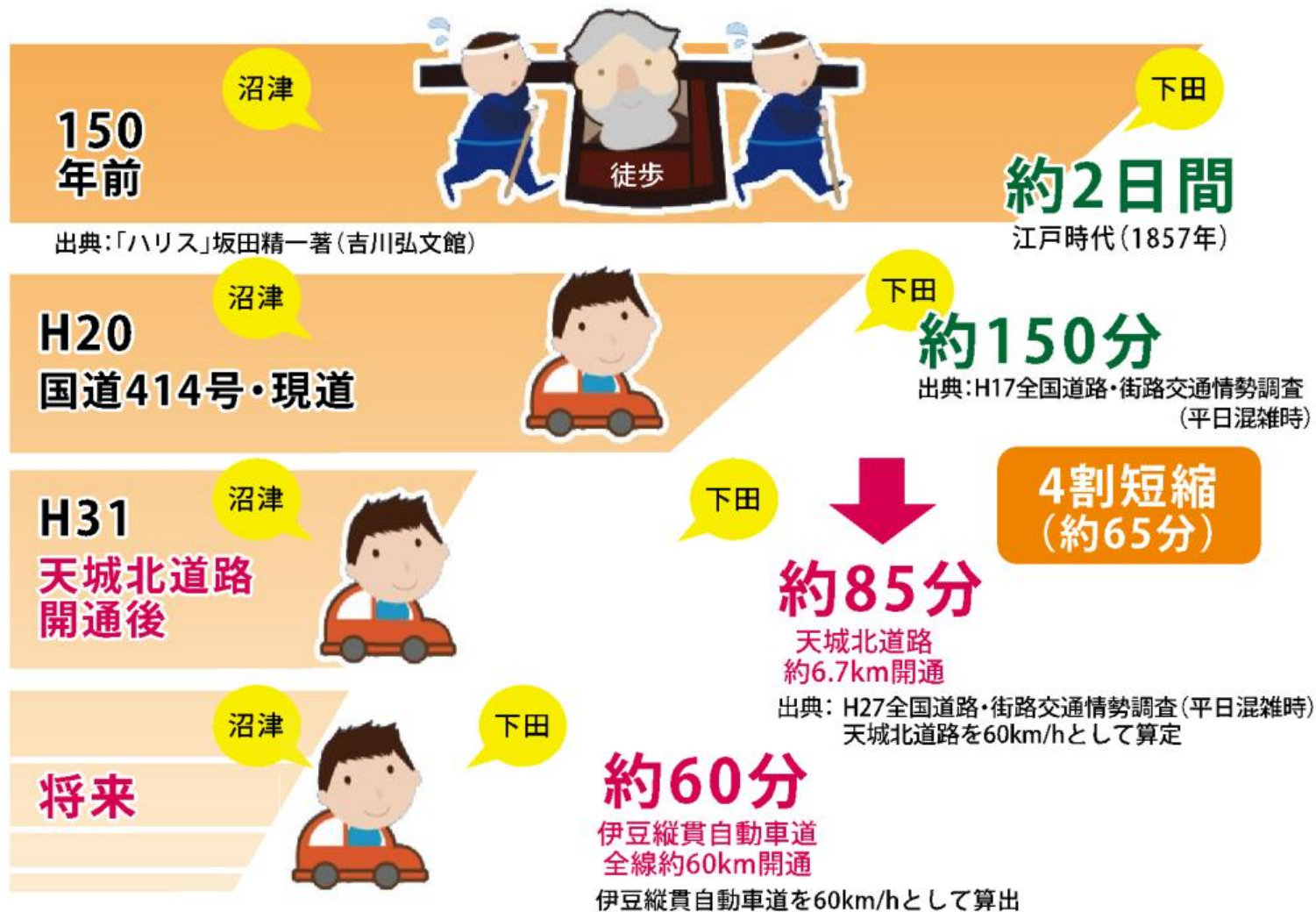
主要渋滞箇所 萩原北交差点

R8当初
事業費
163百万円

令和8年度 事業内容
関係機関協議、用地調査、道路予備設計、
橋梁予備設計、環境調査、水文調査、
地質調査、用地買収

凡	例
開通済	■■■■■
事業中	■■■■■

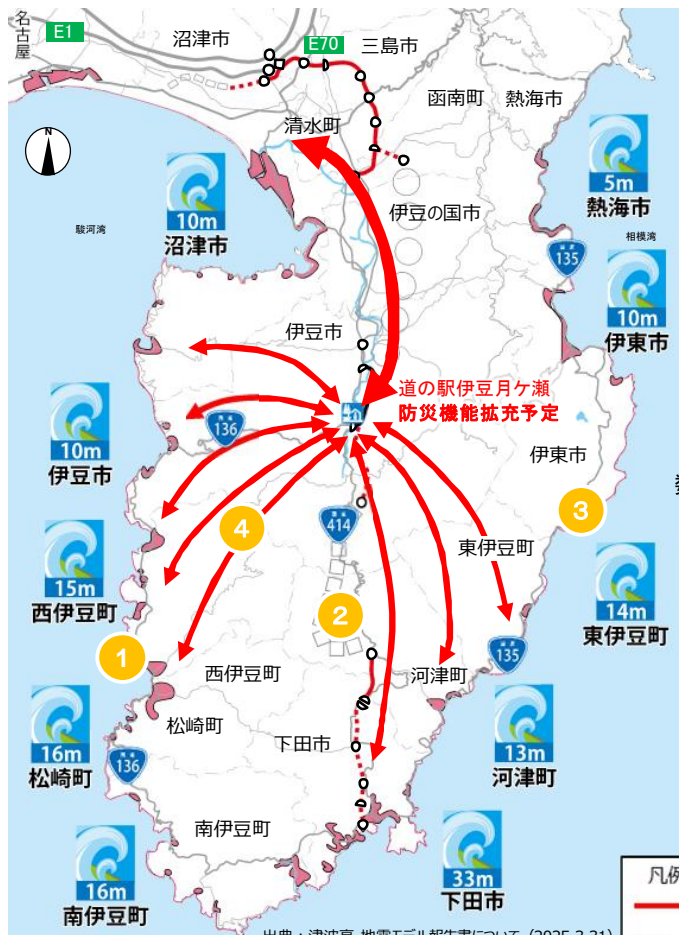
伊豆縦貫自動車道のストック効果[時間短縮]



○伊豆半島は、南海トラフ巨大地震による津波等、**災害リスクの高い地域**

○耐災性の高い伊豆縦貫自動車道の整備と合わせ、有事の際にも機能する防災計画の立案及び防災拠点整備が必要

■中部ブロックにおける「くしの歯作戦」

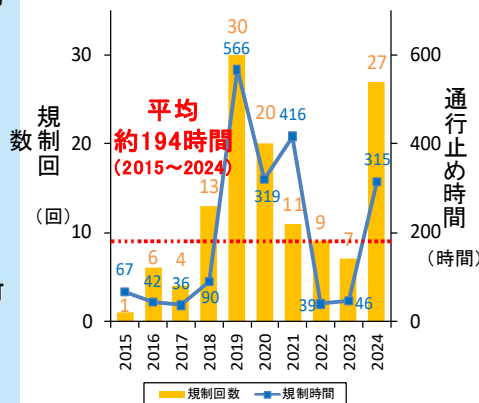


出典：津波高 地震モデル報告書について (2025.3.31)
：津波浸水想定 静岡県 (2020.3)

■道の駅の災害時活用 復旧救援の後方支援拠点



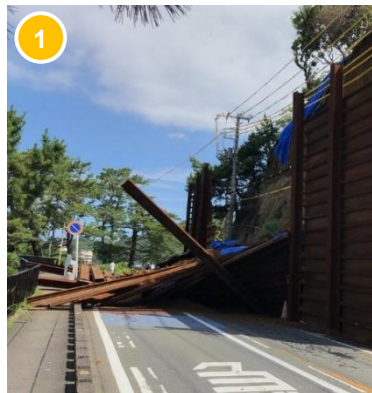
■伊豆地域の通行止め実績 (国道135号、国道136号、国道414号※)



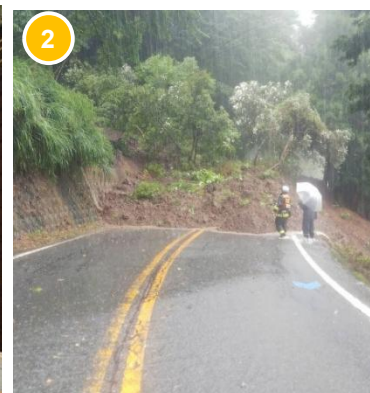
出典：静岡県通行規制実績 (沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所)
※国道414号は旧道除く



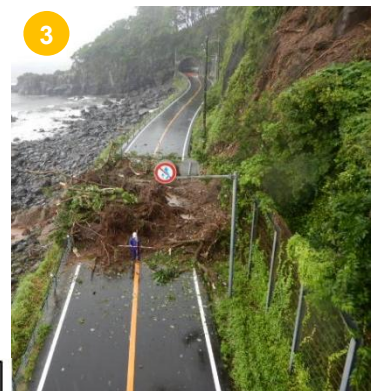
■台風、大雨等による伊豆南部の法面被災状況



【国道136号 法面崩壊】
にし ず にしな
(2020.7 西伊豆町仁科)



【国道414号 法面崩壊】
かわづ なしもと
(2021.7 河津町梨本)



【国道135号 法面崩壊】
いとう あかさわ
(2020.7 伊東市赤沢)

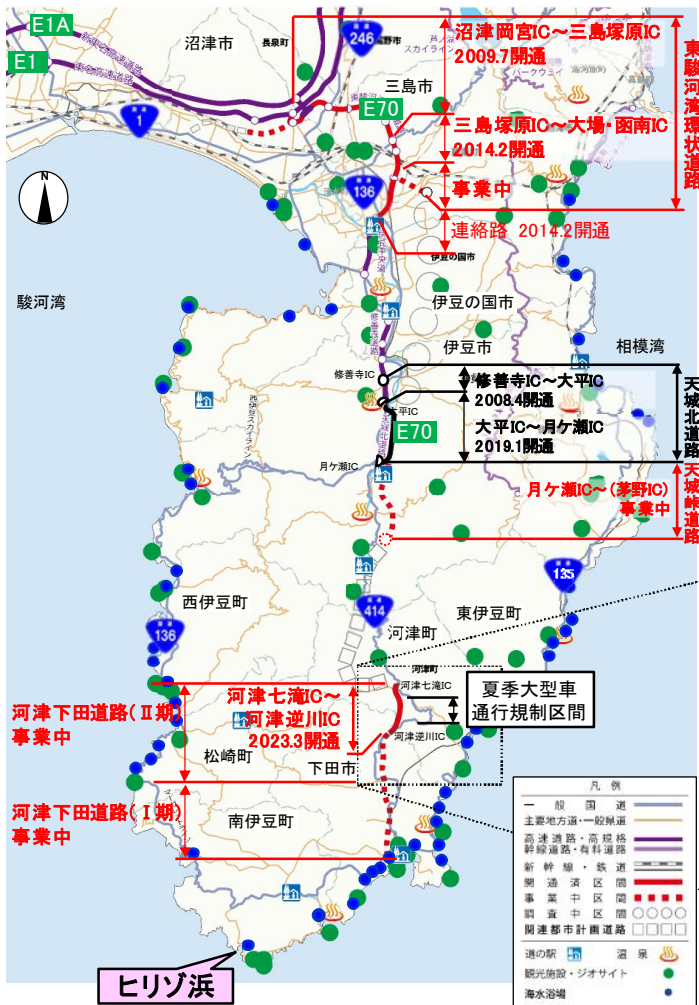


【(主)伊東西伊豆線 法面崩壊】
(2021.8 西伊豆町一色)

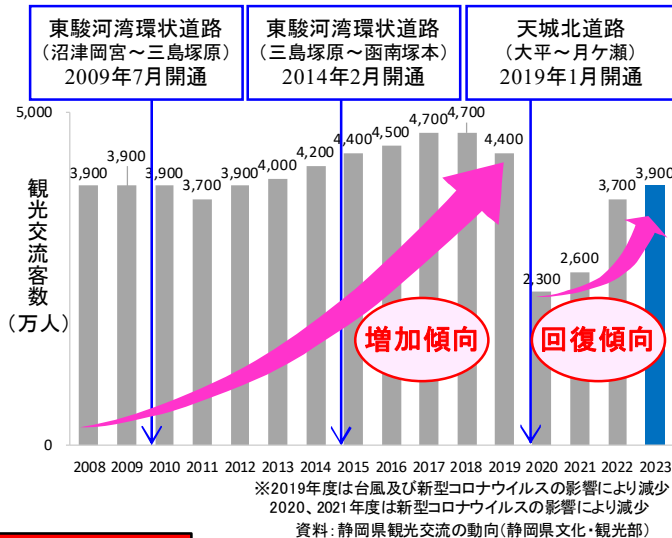
伊豆縦貫自動車道のストック効果[観光支援]

- 伊豆地域の観光交流客数は、東駿河湾環状道路等の開通とともに増加
- 令和5年3月19日に開通した河津下田道路(Ⅱ期)(河津七滝IC~河津逆川IC)の整備により、夏期大型車通行規制区間の迂回解消及び時間短縮が図られ、アフターコロナの観光回復に寄与することに期待

■伊豆地域の観光施設



■伊豆地域の観光交流客数の推移



■伊豆地域の観光地

※IC名称は仮称

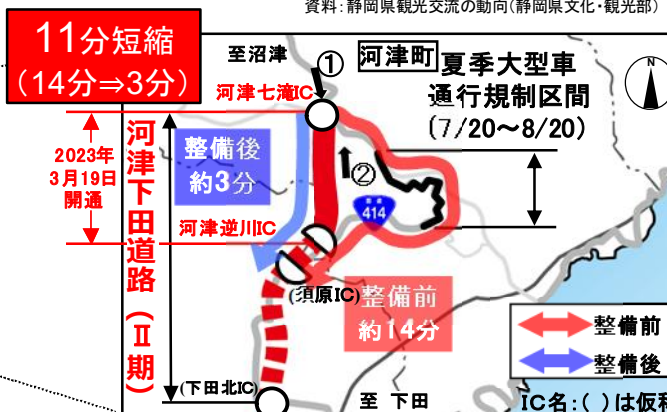
【ヒリゾ浜 (南伊豆町)】



地域の新たな観光資源を発掘し、観光協会主催の海水浴ツアーを行うなど、誘客努力を実施。

写真①

写真②



※出典：ETC2.0プローブデータ
開通前：2022.8.11(木・祝)、8.13(土)~8.14(日)(お盆期間の休日・祝日)
開通後：2024.8.10(土)~8.12(月・祝)(お盆期間の休日・祝日)
7~18時台平均所要時間



河津下田道路(Ⅱ期)の開通により、これまで修善寺地域(伊豆市)までの来訪に留まっていた方が、新たに下田市方面まで足をのびしてくれるのではないかと期待しています。また、日帰りなど気軽な来訪が可能となるため、下田市への観光客の増加も期待しています。

■道路の維持管理

- 日常の道路パトロールや、路面清掃・除草など適切な道路の維持管理により、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- 冬期には、大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。



道路パトロール(国道246号)



除雪作業(国道1号)

■道路の老朽化対策①

- メンテナンスサイクルの実施
 - ・道路施設は、5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁・トンネル・函渠・横断歩道橋・道路情報板など)



橋梁点検車による点検

高所作業車によるトンネル点検



支援技術を活用した点検

■道路の老朽化対策②

- 自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで、橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修（座学）



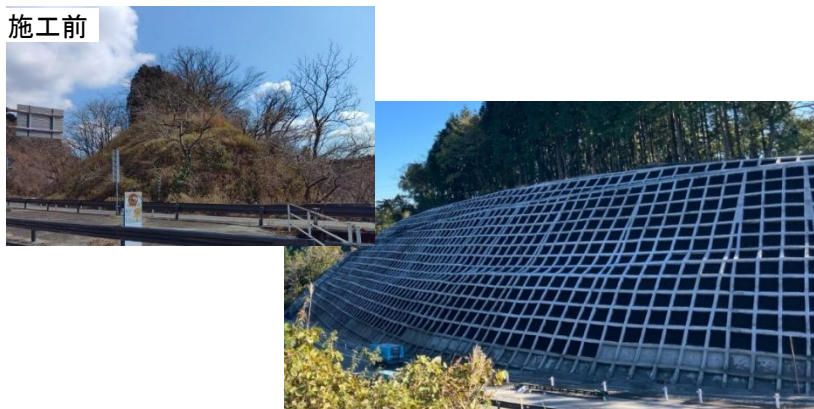
自治体向け橋梁点検研修（現地実習）

■道路の防災対策・震災対策

- 豪雨・地震等による災害を防止するため、道路法面の安定性等について詳細な点検を行い、点検の結果、対策が必要な箇所について危険度に応じた必要な工事を実施します。
- 南海トラフ地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

【法面对策実施事例】

施工前



【橋脚の耐震補強実施事例】

施工前



- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

小山上野地区視距改良



沼津市花園町地区
「ゾーンプラス30」

山中新田地区事故対策

【令和8年度の主な事業箇所】

- ①静岡1号交通安全対策事業（山中新田地区事故対策） 工事推進
- ②静岡246号交通安全対策事業（小山上野地区視距改良） 工事推進



①道路構造が一定ではなく、
運転しにくい道路となっている



②国道246号県境付近は、
大型車が多く急勾配かつ急カーブが連続する

【トピック：過年度実施】沼津市花園町地区を静岡県初の「ゾーン30プラス」登録

「沼津市花園町地区」を静岡県初の「ゾーン30プラス」として令和3年に登録し、令和5年に短期対策が完了。
生活道路の安全対策を支援するとともに、「ヒト中心のウォーカブルなまちづくり」につながる道路空間づくりを進めています。



ゾーン30プラス看板・路面標示



歩行空間整備（カラー舗装）



一方通行規制
(7-8:00・土日除く)

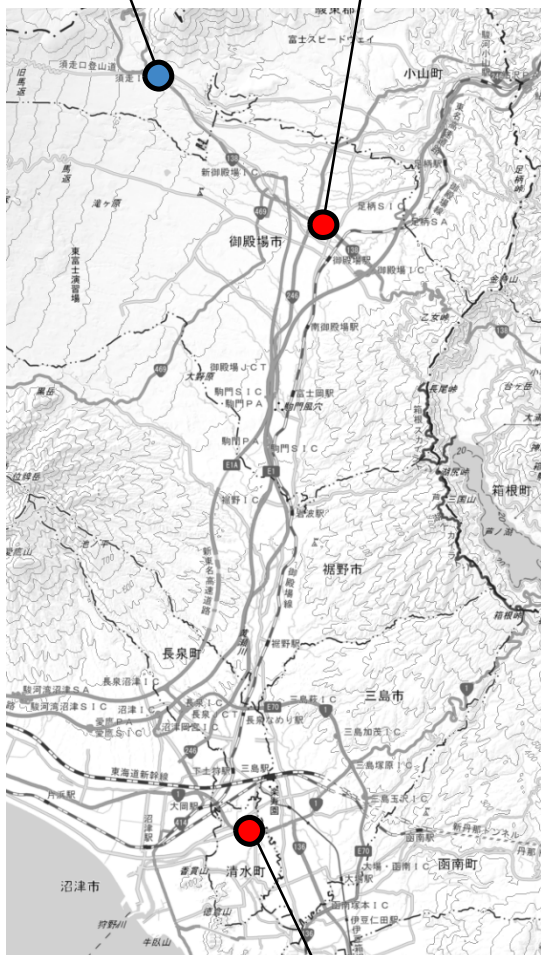


交差点ハンブ

- 歩行者が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに、安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

須走電線共同溝

萩原電線共同溝



伏見電線共同溝

【令和8年度の主な事業箇所】

- ①静岡138号電線共同溝事業（萩原電線共同溝）
- ②静岡1号電線共同溝事業（伏見電線共同溝）



①萩原地区



②伏見地区

【参考：過年度までに完了した箇所】

- ・静岡138号電線共同溝事業（須走電線共同溝）



整備前



整備後

- 令和7年4月の道路法改正により、道路啓開が法定化
- 令和8年3月、「中部道路啓開計画」が策定
- 静岡県東部地域道路啓開ルートにかかるSTEP 1を延伸（天城北道路月ヶ瀬ICから下田市蓮台寺駅前交差点）
- 本来道路管理者に代わり、国が啓開することができる道路（直轄啓開予定道路）を設定

○道路啓開ルートSTEP 1の延伸について



○直轄啓開予定道路について

種別	路線名	区間	道路管理者
直轄啓開予定道路	国道136号	函南塚本IC～田方郡函南町肥田まで	静岡県
	伊豆中央道	田方郡函南町肥田～伊豆の国市南江間（長岡北IC）まで	静岡県 道路公社
	国道136号	伊豆の国市南江間（長岡北IC）～伊豆の国市田京（大仁中央IC）まで	静岡県
	修善寺道路	伊豆の国市田京（大仁中央IC）～伊豆市修善寺（修善寺IC）	静岡県 道路公社
	国道136号	修善寺IC～大平IC	静岡県
直轄国道	伊豆縦貫自動車道	大平IC～月ヶ瀬IC	国土交通省
直轄啓開予定道路	国道414号	月ヶ瀬IC～河津七滝IC	静岡県
直轄国道	伊豆縦貫自動車道	河津七滝IC～河津逆川IC	国土交通省
直轄啓開予定道路	国道414号	河津逆川IC～蓮台寺駅前交差点	静岡県

【道路啓開とは】

緊急車両の通行確保のため、発災直後より、道路上に堆積した土砂や瓦礫等の障害物の除去や段差解消等を行い、被災地への救援ルートを切り開く作業のことで。

